ニュースリリース

一歩先の医療を、創造する。
東京医療保健大学
TOKYO HEALTHCARE UNIVERSITY

2026年11月25日
学校法人青葉学園

東京医療保健大学と株式会社サンロッカーズが産学連携協定を締結

～教育・研究とプロユース育成の融合、スポーツ振興および地域貢献を目指す包括的な連携を推進～

学校法人青葉学園が運営する東京医療保健大学（本部：東京都品川区、理事長：田村聡明、学長：亀山周二 ）と、B.LEAGUE所属のプロバスケットボールチーム「東京サンロッカーズ」を運営する株式会社サンロッカーズ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：神田康範）は、スポーツ科学・スポーツビジネス分野における包括連携協定を締結し、2026年11月24日（火）に調印式を執り行いました。



左から、株式会社サンロッカーズ 代表取締役社長 神田康範氏、
東京医療保健大学 女子バスケットボール部 監督 恩塚亨、理事長 田村聡明、学長 亀山周二

■協定締結の背景と目的

本学園が運営する東京医療保健大学における教育・研究および学生の実践的な成長機会の充実と、株式会社サンロッカーズが運営する「東京サンロッカーズユース」の競技環境の充実・育成活動の推進を図ります。 双方が保有する施設・人的資源・知的ノウハウおよび専門性を融合させ、スポーツ・健康・教育分野の発展、地域社会への貢献ならびにスポーツ振興に寄与することを目的としています。

■主な連携事項・取組内容

1.スポーツ施設・教育施設等の相互活用
本学の施設（体育館等）を東京サンロッカーズユースの活動拠点・練習環境として提供・活用。

2.専門スタッフ派遣による教育・人材育成の推進
サンロッカーズ所属のコーチ、アナリスト、トレーナー等のプロスタッフを本学へ招聘し、特別講義やセミナー等を通じた専門的人材育成を支援。

3.学生への実践的な学修機会（インターンシップ等）の提供
ユースチームの現場やクラブ運営に関わるインターンシップ機会等を提供し、実践的なスポーツビジネス・現場指導の学修を推進。

4.部活動とユースチームの合同練習・練習試合等を通じた競技力向上
本学の部活動とユースチーム間での合同練習や技術交流等を通じ、双方の競技力および指導力の向上を促進。

5.広報・プロモーションおよびスポーツ振興活動における協力
双方の媒体を通じた情報発信、ホームゲーム観戦機会の創出、学生の参画機会の検討など、地域・社会に向けたスポーツ振興を展開。

■調印式の概要

開催日：2026年11月24日（火）
会　場：東京医療保健大学　五反田キャンパス
名　称：学校法人青葉学園×株式会社サンロッカーズ 産学連携協定調印式
出席者：
株式会社サンロッカーズ　代表取締役社長 神田康範
学校法人青葉学園 東京医療保健大学
理事長 田村聡明
学長 亀山周二
女子バスケットボール部 監督 恩塚亨



調印式の様子



左：東京医療保健大学オリジナルキャラクター「Toppy（トゥッピー）」
右：東京サンロッカーズ公式マスコット「SUNDY（サンディー）」

【学校法人青葉学園 東京医療保健大学 理事長 田村聡明 コメント】



本学は、看護・医療分野の人材育成に取り組むとともに、女子バスケットボール部の活動を支えてきました。近年は、部の活動を通じて培った経験を生かし、バスケットボールに関わるさまざまな役割を、より多くの学生が学べるよう取り組んでいます。
今回の協定を機に、学生がプロスポーツの現場に触れ、選手やチームを支える仕事への理解を深める機会をつくってまいります。現場での学びを通じて、学生一人ひとりが自分の可能性を広げ、将来の進路を考えるきっかけになればと考えています。
本学の女子バスケットボール部とサンロッカーズは、練習試合などを通じて交流を重ねてきました。これまでの交流を土台に、本学の施設を活用し、ユースチームの選手が練習に打ち込める環境づくりにも協力してまいります。学生の学びと次世代の選手育成の両面で、今回の協定を具体的な取り組みにつなげてまいります。

【株式会社サンロッカーズ 代表取締役社長 神田康範氏 コメント】



この度、東京医療保健大学様と産学連携協定を締結できましたことを、大変嬉しく思っております。
東京サンロッカーズは、トップチームの強化はもちろん、次世代を担う若い選手たちの育成を重要な使命と捉えています。今回の連携により、ユースチームの育成環境がさらに充実することに加え、これまでも交流を重ねてきた女子バスケットボール部の皆さまと互いに刺激し合い、さらなる競技力向上につながることを期待しています。
また、競技の枠を超えた取り組みにも大きな可能性を感じています。貴学が持つ教育・研究・医療・健康分野の専門知見と、私たちが培ってきたプロクラブとしての経験や地域社会とのつながりを掛け合わせることで、インターンシップや講義など、双方の強みを活かした新たな価値を創出していきたいと考えています。
スポーツを通じて人を育て、地域を元気にすることこそがプロクラブの大切な役割です。学生、選手、そして地域の皆さまにとって具体的な成果を生み出せるよう、東京医療保健大学の皆さまと共に新しい挑戦に取り組んでまいります。

【学校法人青葉学園】
所在地：東京都品川区東五反田四丁目1番17号
代表者：理事長 田村 聡明
運営校：東京医療保健大学 ほか

【株式会社サンロッカーズ】
所在地：東京都品川区西品川一丁目1番1号 住友不動産大崎ガーデンタワー
代表者：代表取締役社長 神田 康範
事業内容：プロバスケットボールチーム「東京サンロッカーズ」およびユースチームの運営 ほか

■東京医療保健大学 スポーツ科学副専攻

東京医療保健大学では、2026年度から「スポーツ科学副専攻」を本格始動しました。
本学のスポーツ科学副専攻では、考える力、分析する力、支える力を育みます。日本一を誇る女子バスケットボール部の現場を“生きた学びの実践の場”とし、データ分析やコンディショニング管理、メンタルトレーニングを融合した教育を展開します。競技に真剣に向き合いながら、その経験を将来のキャリアにもつなげていきます。
トップアスリートやコーチ陣が日々実践している考え方や取り組みを学べることも、本副専攻の特長です。世界で戦ってきたプロの視点と基準を、参加型の学びを通して身に付けられる教育を展開し、スポーツ界や社会で求められる人材の育成を目指します。



・スポーツ科学副専攻 特設サイト
https://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/healthinfo/ss/

【東京医療保健大学とは】

理事長	：田村聡明
学長	：亀山周二
設立年度	：2005年
本部	：東京都品川区東五反田
キャンパス	：五反田キャンパス、世田谷キャンパス、国立病院機構(東が丘)キャンパス、国立病院機構立川キャンパス、船橋キャンパス、雄湊キャンパス(和歌山)、日赤和歌山医療センターキャンパス(和歌山)
学部(学科)	：医療保健学部(看護学科、医療保健学科(管理栄養学専攻、臨床検査学専攻、医療情報学専攻、臨床工学専攻))、東が丘看護学部(看護学科)、立川看護学部(看護学科)、千葉看護学部(看護学科)、和歌山看護学部 (看護学科)
専攻科	：助産学専攻科、和歌山助産学専攻科
大学院	：医療保健学研究科(修士課程9領域、博士課程3領域)、看護学研究科(修士課程4コース、博士課程)、和歌山看護学研究科(修士課程3領域)、千葉看護学研究科(修士課程)
学生数	：2,935名(2026年4月現在)